

福祉のまちづくり

平成18年度のあゆみ

平成19年9月発行

発行

横浜市健康福祉局地域福祉保健部福祉保健課

横浜市中区港町1-1

TEL 045-671-2387・4049 FAX 045-664-3622

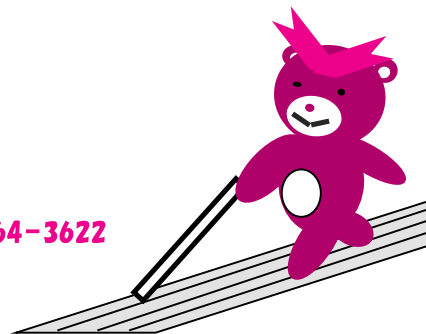
デザイン

朝日オフセット印刷株式会社

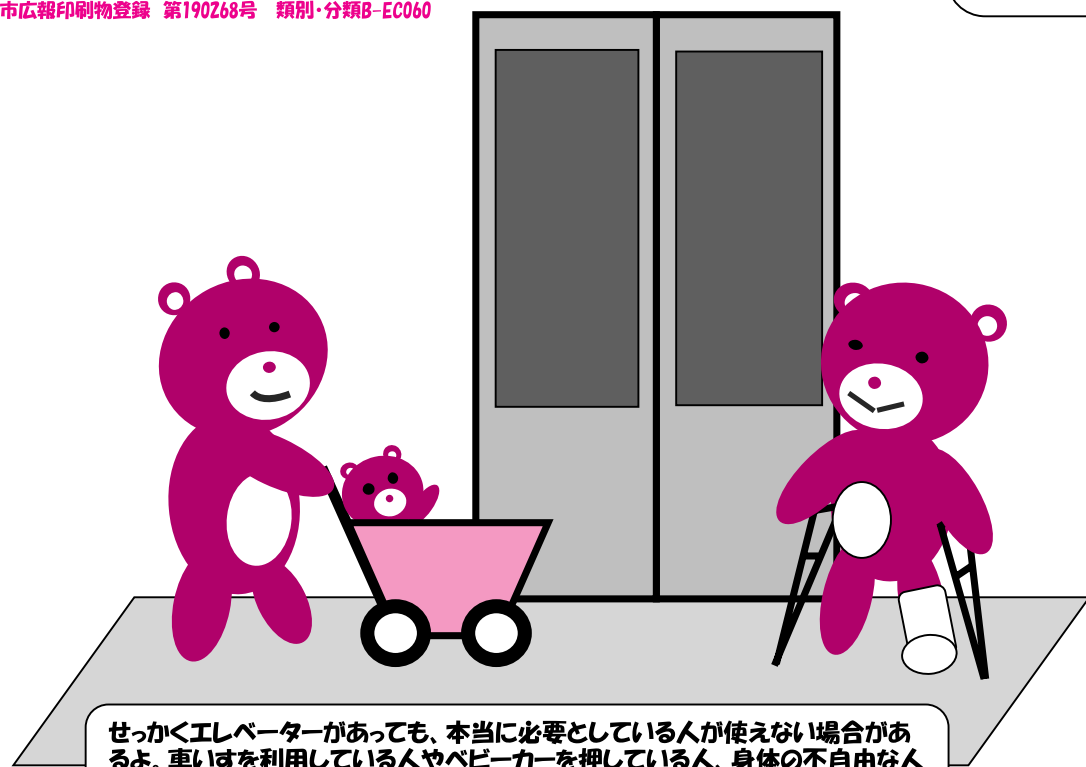
印刷

三昇堂印刷株式会社

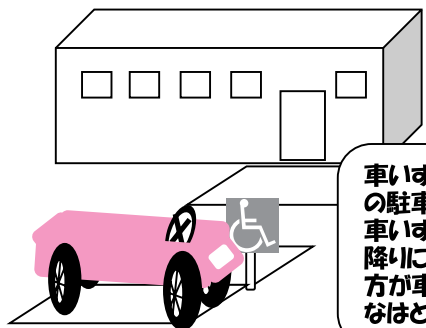
横浜市広報印刷物登録 第190268号 類別・分類B-EC060



点字ブロックは、視覚に障害のある方にとって大切な手がかりとなるもの。点字ブロックの周辺には、自転車やものをおかないでね！



せっかくエレベーターがあっても、本当に必要としている人が使えない場合があるよ。車いすを利用している人やベビーカーを押している人、身体の不自由な人がいたら、ゆづりあって乗ろうね！



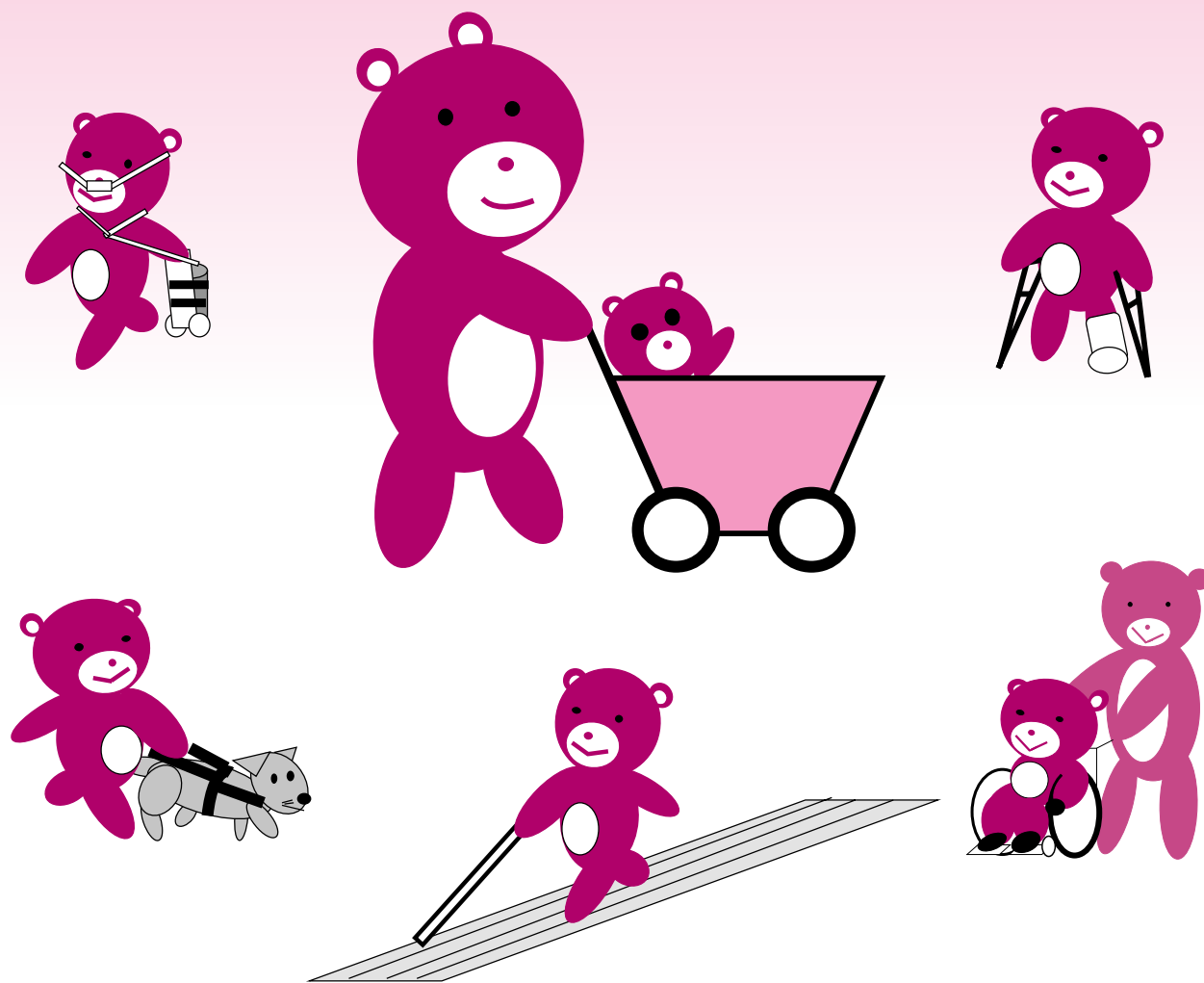
車いす使用者用駐車区画はほかの駐車区画より広がっているよ。車いすや杖をついた人など、乗り降りに広いスペースを必要とする方が車をとめる場所だから、みんなはとめないでね！



2009 横濱開港150周年

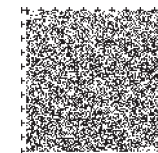
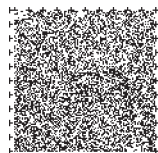
福祉のまちづくり

平成18年度のあゆみ



横浜市福祉のまちづくり推進指針に位置づけられている

「今、がんばる7つのプロジェクト」の進捗状況をまとめたものです。



目次

まえがき

1

- 平成18年度の横浜市福祉のまちづくり事業を振り返って

プロジェクト1 福祉のまちづくり推進会議を中心とした福祉のまちづくりの展開

1

- 推進会議の役割と委員構成
- 推進会議の活動内容

「福祉のまちづくり推進指針」を改訂しました!

2

プロジェクト2 重点推進地区による先導的「福祉のまちづくりモデル事業」の展開

4

～ 区主体型福祉のまちづくり重点推進地区事業 ～

- 鶴見寺尾地区
- 青葉台駅周辺地区
- 金沢文庫駅周辺地区

～ 都市拠点型・市民発意型福祉のまちづくり重点推進地区事業のその後の経過 ～

プロジェクト3 地域の福祉のまちづくり活動を支援する情報提供システムの確立による展開

10

- 「福祉のまちづくり平成17年度のあゆみ」の発行
- 「暮らしのガイド」にバリアフリーマップを掲載

プロジェクト4 地域で福祉の心を育み、支えあうしくみをつくることによる展開

11

- 学校や企業での福祉教育の相談・コーディネート
- 福祉教育連絡会・研修会の開催
- 子どもたちへの体験講座の実施

プロジェクト5 地域福祉活動との連携による展開

12

- 地域福祉活動への参加の促進と活動支援
- あなたのまちの社会福祉協議会

プロジェクト6 地域にある施設のきめ細かな整備促進による展開

15

- 表示板交付施設
- 先進的事業等事例紹介
- 平成18年度に横浜市が整備した主な施設

プロジェクト7 だれもが利用しやすい交通ネットワークづくりによる展開

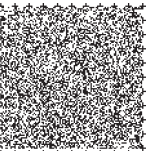
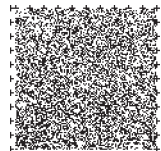
20

- 駅舎エレベーター等整備状況
- ノンステップバス導入状況

資料編

24

- 福祉のまちづくり研修
- バリアフリー新法に基づく「基本構想」策定の取組
- 平成18年度事業の流れ



まえがき

平成18年度の横浜市福祉のまちづくり事業を振り返って

平成9年4月に「横浜市福祉のまちづくり条例」を施行して、10年目を迎えました。平成18年度は、平成11年に作成された「横浜市福祉のまちづくり推進指針」について、3回目の改訂を行いました。指針の見直し作業を進めるなかで、市民・事業者・市が意見交換を重ね、「行動」をテーマに、これからの福祉のまちづくりへ新たな一歩を踏み出す年となりました。

条例の基本施策として進めてきた重点推進地区事業では、金沢文庫駅周辺地区、鶴見寺尾地区、青葉台駅周辺地区それぞれが、地区指定最終年度である3年目を様々な取組で盛り上げながら、今後の活動へつなげる体制づくりを進めてきました。

鉄道駅舎エレベーター等設置事業では市内124駅において地上からホームまでの連続移動が可能になり、83%の整備率になったことや、ノンステップバスも市内で市営、民営バス合わせて642台が走るなど、公共交通機関利用の環境整備に努めました。

この冊子では、平成18年度における条例に基づく取組や成果について、「福祉のまちづくり推進指針」の7つのプロジェクト(重点施策)に沿ってご紹介します。



福祉のまちづくり推進会議を中心とした福祉のまちづくりの展開



推進会議の役割と委員構成

推進会議では、福祉のまちづくりに関する基本的な内容について調査・審議を行います。委員は、広く市民と事業者の意見が反映できるよう学識経験者、事業者、関係団体など委員30人以内で構成されています。推進会議では、地域と関係機関・団体との距離を縮め、推進会議の活動が活発化できるように小委員会を設置しています。

小委員会は推進会議の委員7人で構成されており、推進会議の先導的役割を担っています。



小委員会の様子

推進会議の活動内容

平成18年度の推進会議・小委員会のメインテーマは、福祉のまちづくり推進指針の改訂でした。これまでの福祉のまちづくりの取組を振り返りながら、新たな短期目標を設定し、市民・事業者・市のそれぞれが取り組むことなどを話し合いました。

あわせて、前年度に引き続き、区主体型の重点推進地区事業として、鶴見寺尾、青葉台駅周辺、金沢文庫駅周辺の3地区の活動について報告を受けたほか、「高齢者、障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化に関する法律(交通バリアフリー法)」に基づく基本構想など、本市が取り組むバリアフリー施策に対して意見をいただきました。

また、次期改選から新たに、推進会議の委員のうち数名を一般の市民の方から公募により選出することも決まりました。



「福祉のまちづくり推進指針」を改訂しました!



横浜市福祉のまちづくり推進指針は、平成11年(1999年)に初めて作成されました。

2010年までの長期目標とともに、一定の年度ごとの段階的な目標である短期目標を設定し、定期的に見直しを行ってきました。

■「福祉のまちづくり推進指針」って何?



「福祉のまちづくり推進指針」は、「横浜市福祉のまちづくり条例」に基づき、本市の福祉のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本となる指針と位置づけられています。

推進指針には、「福祉のまちづくりに関する目標」や「福祉のまちづくりに関する施策の方向性」、「市、事業者及び市民が一体となって福祉のまちづくりを推進するための具体的方針」などを定めることとしています。

■「福祉のまちづくり推進指針」のこれまで

【長期目標】

「ソフトとハードが一体となった福祉のまちづくりが進み、だれもがヨコハマの良さを感しながら暮らすことのできるまち」

【2001年までの短期目標】

「ヨコハマで暮らし、活動するすべての人が少なくとも1回は、福祉のまちづくりを考える機会を持つこと」

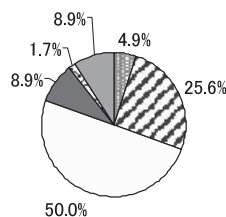
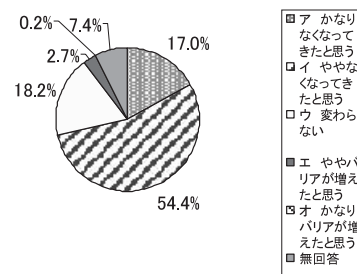
【2006年までの短期目標】

「みんなで福祉のまちづくり情報をキャッチボールしよう!」

■これまでの短期目標に基づく成果は?

●5年前に比べ、横浜の施設はバリアがなくなってきたと思うか?
…7割を超える人が改善を実感しています。

●横浜に暮らす人の心はバリアがなくなってきたと思うか?
…半数の方が「変わらない」と答えています。



□ア かなりなくなってきたと思う
□イ ややなくなってきたと思う
□ウ 変わらない
□エ ややバリアが増えたと思う
□オ かなりバリアが増えたと思う
□ 無回答

■今回の改訂版はどうやって作ったの?

市民意見交換会や関係団体ヒアリング、市民アンケート等を行い、福祉のまちづくり推進会議、小委員会で議論していただきました。

✿市民意見交換会を開催しました

広くみなさんの意見をお聞きするため、障害のある方や福祉のまちづくりの活動をしている方などと一緒に、ワークショップ形式で話し合いました。

【1回目】:平成18年7月1日(土) 午前10時~12時

【2回目】:平成18年7月22日(土) 午後2時~4時



✿アンケートを実施しました

700名のインターネット登録者に、福祉のまちづくりについてのアンケートを実施しました。

また、障害のある方、子育て中の方、事業者の方などにもそれぞれ紙によるアンケートを実施しました。

✿グループインタビューを実施しました

福祉のまちづくりに主体的に関わる事業者の方、障害のある方、子育て中の方、障害児の親の方などにグループインタビューを行いました。

✿市民意見を募集しました

市民意見交換会やアンケート、グループインタビューなどでいただいたご意見やアイデアを盛り込んだ「横浜市福祉のまちづくり推進指針改訂版(素案)」について、市民意見を募集しました。

✿横浜市福祉のまちづくり推進指針(改訂版)完成

【2010年までの短期目標】「さあ、行動しよう!福祉のまちづくり」

●これまでの成果を踏まえて、ハードのまちづくりはこれまでどおり推進するとともに、心のバリアフリーをさらに推進しようというものです。

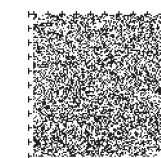
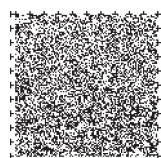
●推進指針を協働で進めるために「市民」「事業者」「市」の役割を明記しました。

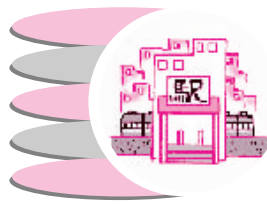
★市民が取り組むことの例★

「視覚障害者誘導用ブロックの上やその周辺に駐輪をしたり、ものを置くのをやめましょう。(マナーの向上)」、「ボランティア活動に積極的に参加します。」など

【指針の配布場所】区役所福祉保健センター、地域ケアプラザ、地区センター 等
指針についての詳しい内容は、下記ホームページからも見ることができます。

ホームページアドレス <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/chifuku/fukumachi/jorei/O3.html>





重点推進地区による先導的 「福祉のまちづくりモデル事業」の展開

～区主体型福祉のまちづくり重点推進地区事業～



鶴見寺尾地区福祉のまちづくり重点推進地区事業

鶴見寺尾地区は、平成16年10月25日に地区指定を受け、平成18年度は引き続き、ハード、ソフトの両面から、住民・事業者・行政が、協働で福祉のまちづくり活動を進めてきました。

また、新たな活動として、「わたしたちのまちをきれいにしよう」一言メッセージ入りポスター募集を行い、保育園児・幼稚園児から大人まで560点の応募がありました(てらおまち自慢大会で表彰)。地域の中で、「自分たちのできることからまちをよくしていこう!」という方々が増えてきています。

さらに、「健康で住みやすい福祉のまちをつくる」ために、「福まち」活動や「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」推進の活動を、協働で進めています。



まちをきれいにしようポスター展示

平成18年度の主な活動

◆てらお「福まち」素材を発掘するプロジェクト

てらお「福まち」協議会に参加している各主体が行う催しについて、年間を通じて一つの共通テーマを設定し、結びつけ、リレーしていく「リレーイベント」、自分たちのまちの魅力を発見するための「まち探見隊養成講座」などから、まちの魅力や問題点をできるだけ具体的に把握しました。

- ① 私たちのまち探見隊養成講座
- ② リレーイベント
- ③ てらおガリバーマップ
- ④ まちの絵地図づくり(どんぐり地図)
- ⑤ ナイトウォーク
- ⑥ バリアフリーウォーク
- ⑦ 防災まち歩き

「山坂が多い私たちのまちを住みやすくする方法を学んでみませんか?」
まちの魅力を発見し、だれにでも優しい、暮らしやすいまちについて考える講座

被災時の避難を想定し、障害がある方も参加して、まち歩きをしました。



防災まち歩きの様子
この階段から避難できるでしょうか?

開催月	開催日	開催時間	開催場所	主催者	お問い合わせ先
10月	10月18日(日)	10:15～12:00	鶴見区庁舎	鶴見区	03-3541-1100
10月	10月27日(日)	10:00～12:00	鶴見区庁舎	鶴見区	03-3541-1100
11月	11月4日(日)	10:00～12:00	鶴見区庁舎	鶴見区	03-3541-1100
11月	11月5日(日)	11:00～12:00	鶴見区庁舎	鶴見区	03-3541-1100
12月	12月20日(日)	11:00～12:00	鶴見区庁舎	鶴見区	03-3541-1100

リレーイベントのちらし

◆てらおのまち環境を協働して形づくるプロジェクト

多くの個人や組織と協働して、まちの魅力を維持し、問題点は改善し、可能性を手がかりにして、新たな「福」を生み出していきました。「寺尾らしさ」を大切にしながら、丘陵のまちを使いこなすハードの形成とさまざまな人々の関係を築くソフトの形成に取り組みました。

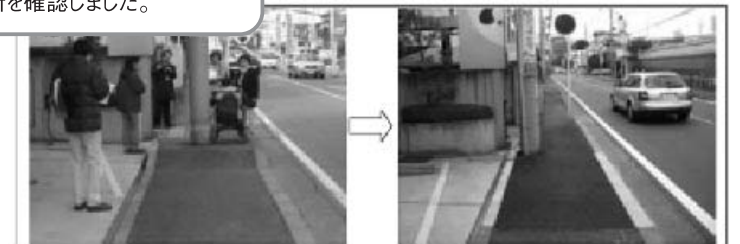
- ① 昔遊び祭り
- ② 福祉の心を育てる体験
- ③ まちをきれいにしようポスター募集
- ④ 夏休み子ども向け講座の企画
- ⑤ バリアフリー小旅行
- ⑥ 小さないす大作戦
- ⑦ バリアフリー改善の記録(獅子ヶ谷通り)
- ⑧ 馬場町公園の改修
- ⑨ まちかど小広場づくり(提案)

バス事業者と学校が連携して、ノンステップバスと通常のバスの比較や、妊婦、視覚障害、車いす等の疑似体験を実施。また、盲導犬ユーザーの方の講演会も実施。



盲導犬ユーザーの方の講演会

まちのバリアを点検し、結果を鶴見土木事務所に提供。これを受け、土木事務所は改修に着手。改善箇所を確認しました。



◆てらお「福まち」の情報を伝えるプロジェクト

福祉のまちづくりをこのまちに暮らす多くの人々へ知らせ、「福まち」の輪を広げました。わかりやすく魅力的な情報提供を心がけています。

- ① てらお「福まち」キャラクターとイラスト
- ② てらお「福まち」フェスタ2006(寺尾センター文化発表会、寺尾地域ケアプラザ祭り)
- ③ 広報紙「ひびきあい」
- ④ てらおまち自慢大会
- ⑤ 対外アピール(鶴見・あいねっと「地域フォーラム」に参加)
- ⑥ てらお「福」読本とまち環境マップ
- ⑦ てらお「福まち」活動紹介展(パネル&ポスター展)
- ⑧ てらお情報局



てらお「福まち」キャラクター Terao(てらお)とHibiki(ひびき)の兄弟
活動メンバーの子育て中のお母さんが描きました。

◆今後の取組◆

「福祉のまちづくり重点推進地区」の指定が終了した後も、これまでの取組を継続し、「福まち」の活動を通して育まれた人々のつながりを「鶴見・あいねっと」(鶴見区地域福祉保健計画)として生かしていきます。

青葉台駅周辺地区福祉のまちづくり重点推進地区事業

青葉台駅周辺地区は、平成16年10月25日に福祉のまちづくり重点推進地区の指定を受け、平成19年3月までの3か年間で、地区協議会が定めた活動指針や、より具体的に活動の計画をまとめた「行動計画」を策定し、それらに基づいて事業を実施してきました。実際の活動は、協議会のもとに設置した「作業部会」を中心に進めてきました。

平成18年度の活動状況

<会議>

- 青葉台駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区協議会 3回開催
- 青葉台駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区作業部会
 - ・学習交流部会 4回開催
 - ・まちづくり提案部会 4回開催

<部会により行った事業>

- 榎が丘小学校との交流会の開催(学習交流部会)

榎が丘小学校の4年生の福祉教育の一環として、福祉のまちづくり協議会との交流会を開催しました。

- 内容◆・福祉の現状と福祉のまちづくり協議会の取組について説明
- ・サポートガイドを活用したQ&A
 - ・クイズの内容をロールプレイで体験
 - ・視覚障害者による講話(実体験など)



- 障害者地域作業所「ほっと館・花」との交流会(学習交流部会)
- 障害者団体と交流し、お互いの理解を深めるため障害者地域作業所「ほっと館・花」との交流会を開催しました。

- 改善提案書の作成(まちづくり提案部会)

まちあるきの結果等をもとに、ハード面で改善の必要な箇所を洗い出し、「改善提案書」を作成しました。

- 提案先◆・東京急行電鉄株式会社(平成18年8月23日)
- ・青葉土木事務所(平成18年8月23日)
 - ・青葉台連合商店会(平成19年2月6日)



サポートガイド

<イベント>

- 第4回福祉のまちづくりイベント

開催日◆平成19年3月10日(土)

場所◆青葉台東急スクエア

内容◆障害者作業所等によるパネル展示・物品販売、障害者グループによる楽器演奏等、榎が丘小学校の4年生のポスター掲示

- 福祉のまちづくり講演会

開催日◆平成19年3月7日(水)

場所◆青葉台コミュニティハウス

内容◆ユニバーサルデザインについて、誰もが使いやすく、利用しやすいものとはどんなものか。

講師◆関根 千佳 氏(株式会社 ユーディット代表取締役)



◆今後の方向性◆

平成16年度から3か年間で培ったノウハウをもとに、啓発イベントや福祉教育を実施していきます。

●コラム●

●コミュニケーションボード●

コミュニケーションボードとは、コミュニケーションが苦手な知的障害者などが、文字や言葉に代えて、ボードに描かれた絵記号を指さすことで、意思や要求を伝えやすくする道具です。

横浜市では、障害のある人もない人も安心して地域で生活できるよう、市民と協働で「セーフティネットプロジェクト横浜」を立ち上げ、その活動の一つとしてコミュニケーションボードの作成・配布を行っています。

コンビニエンスストアをはじめとする暮らしに身近な店用に作成した17年度に引き続き、18年度は病気やケガなど救急用のコミュニケーションボードを作成、市内の救急隊や医療機関へ配布しました。また、コミュニケーションボードと一緒に活用できるように、障害特性に応じて配慮してほしいことを記載したリーフレットも作成しました



※セーフティネットプロジェクト横浜

横浜市内の障害者・御家族、支援者等の団体、市社会福祉協議会、横浜市の14団体で構成される、市民と協働して立ち上げた団体です。横浜で暮らす障害のある人たちが、地域で安心して暮らすために、自ら主張できる力をつけていくとともに、地域でのネットワーク作りを勧め、市民の障害についての理解を深めていくことを目的として、様々な取り組みを展開しています。



金沢文庫駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区事業

金沢区の協議会は2年目を迎え、前年にも増して「人にやさしいまちづくり」に向けた活動やイベントが繰り広げられました。(地区指定期間：平成17年4月25日～平成19年3月31日)

ふくまち応援団この1年の活動

金沢区の協議会活動の実行部隊が「金沢ふくまち応援団」です。「人にやさしい」まちづくりを、金沢文庫駅周辺から、ゆくゆくは金沢区一円に広げていこうと奮闘している自主活動グループです。メンバーは多士済々、地域のボランティアや、自治会・町内会の役員、地域ケアプラザ、地元事業者などなど。いろんなメンバーがとにかく集まって、ばあっと元気にやっていこう、そういう趣旨から、名称には「応援団」が付き、会合は「集会」と呼んでいます。

平成18年度の活動の中から、いくつかをご紹介します。

- 夏休みウォークラリー(18年8月):区民から参加者を募りチームを組んで地図を持ち、区役所周辺をゲーム感覚でルート探ししました。高齢者や障害者が通行する上で、どこがバリアになっているのか、発見の気付きも取り入れました。
- すずらん通りアートギャラリー(19年3月):八景小学校の児童に防災や町の魅力をテーマに絵画作品を描いていただき、金沢文庫駅前のすずらん通り商店街に展示しました。足を止め作品に見入る勤め帰りの人など、商店街に明るい彩と心む空間を提供してくれました。
- 金沢文庫駅1日駅ボランティア(19年3月):東口駅前の歩行者通路等の整備に併せて交通マナーの啓発、改札前で観光地や道の案内、券売機前で切符購入のサポートなどを行いました。

ふくまち応援団のこれから

協議会は18年度をもって解散となりましたが、その理念はふくまち応援団が引き継ぎました。結成3年目を迎え、駅ボランティアを定例化するなど新たな活動を求めてメンバーは張り切っています。応援団活性化の鍵は、なんとといってもメンバー次第、ただいま団員募集中です。ちょっと興味を持たれた方、人にやさしいまちづくりに関心のある方、まずは下記までお問い合わせください。

金沢区役所福祉保健課事業企画係 ☎788-7824

泥亀地域ケアプラザ ☎782-2940

【金沢ふくまち応援団】

ホームページアドレス <http://ameblo.jp/fuku-much>



夏休みウォークラリー



金沢文庫駅1日駅ボランティア

～都市拠点型・市民発意型福祉のまちづくり重点推進地区事業のその後の経過～

磯子駅周辺(市民発意型)福祉のまちづくり重点推進地区事業

事業終了後も、市民ボランティアの方々が集まって、10月に行われる磯子まつりに参加し、ウォークラリーを行っています。

磯子まつり当日は、子ども達を対象にウォークラリー形式でクイズに答え、ゴールである磯子地域ケアプラザの中で高齢者疑似体験を行ったことを通して、福祉のまちづくりに対する関心を深めてもらいました。

◆磯子まつりへの参加

●催事名 福祉のまちづくりコーナー

●開催日 平成18年10月29日(日)

●会場 磯子地域ケアプラザ

●参加人数 約500名

●運営者の内訳 市民ボランティア30名

また、磯子公会堂で行われた磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子推進フォーラム」の中で、磯子まつり当日の報告をしました。



関内駅周辺(都市拠点型)福祉のまちづくり重点推進地区事業

平成16年7月に、協議会のメンバーが中心となって設立した「横濱ジェントルタウン倶楽部」は、「お出かけアート展」や「ぬくもりビンゴラリー」などのイベントを開催したり、内閣府の全国都市再生モデル調査に応募するなど、障害のある・なしに関わらず、誰にもやさしいまちづくりを進めています。

これらの活動と併せて「横濱ジェントルタウン倶楽部」では、横浜市との協働事業提案モデル事業で「触る地図横浜バリアフリーマップ」を作成し、平成18年度は、この触地図を活用した様々な取組を行いました。

★バリアフリーマップでまちあるき★

開催日 平成18年8月29日

視覚障害者の方をはじめ、100人以上が参加し、いくつかのコースに分かれて、触地図を手に、横浜のまちを楽しみながら歩きました。その後、ワークショップでまちの課題や触る地図の感想などを話し合い、もっと誰にもやさしいまちづくりをしていくにはどうしたらよいかなどを考えました。

★バリアフリーマップ博覧会★

開催期間 平成18年10月9日～10月13日 エクセル伊勢佐木

平成18年10月16日～27日 KGU関内メディアセンターラウンジ

触地図作成の考え方やプロセスを紹介するとともに、全国から集めた「触る地図」の事例や点字教科書、音声による情報提供装置の事例などを展示し、体験してもらいました。

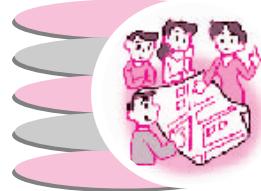
初日である10月9日には、フォーラム「『触る地図』を考える」を開催し、触地図作成の理念とプロセス、今後の展開への可能性を話し合いました。

★魅力スポットデータベースの作成★

横浜の魅力スポットや人にやさしいお店をテーマに、横濱ジェントルタウン倶楽部のメンバーが、自分たちがおすすめの「とっておき」の場所を紹介するWebサイトを作成しました。



ホームページアドレス http://a-beam.net/kannai_barrierfree/



地域の福祉のまちづくり活動を支援する 情報提供システムの確立による展開



「福祉のまちづくり平成17年度のおゆみ」の発行

健康福祉局福祉保健課では、毎年度、福祉のまちづくりの取組をまとめた広報誌「あゆみ」を発行し、各区役所、横浜市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会などに配布しています。

平成17年度のおゆみでは、視覚障害者の方にも手にとって頂けるよう、新たに冊子の端にSPコードを設け、活字文書読み上げ装置に対応できるようにしました。



「暮らしのガイド」に、バリアフリーマップを掲載

平成19年度版「暮らしのガイド」に、市内各駅のエレベーターやエスカレーター、車いす使用者対応等の多目的トイレやおむつの交換台などの設置状況を掲載したバリアフリーマップ(横浜路線図)を掲載しました。

横浜のバリアフリー情報を掲載したホームページ「ヨコハマ・ふくまち.net」

ホームページアドレス <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/chifuku/fukumachi/>

とあわせて、ご活用ください。

暮らしのガイド配布場所:区役所広報相談係窓口、行政サービスコーナー窓口、市立図書館、地区センター、市庁舎1階市民情報センター

コラム

●子どもアドベンチャー2006 での福祉のまちづくりの周知●

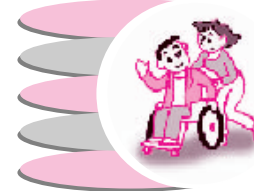
教育委員会が主催する横浜市役所見学会「発見!横浜市役所・子どもアドベンチャー2006」において、福祉のまちづくりを題材としたイベントを行いました。

タイトルは、『バリアフリー姫救出大作戦～バリアゴン横浜上陸』

日頃から周囲に迷惑をかけているマナーの悪い怪人「バリアゴン」に捕まったバリアフリー姫を救うため、子どもたちが、バリアフリー化された施設をチェックポイントとしてまわり、そこから得られた暗号を解いて姫を救出するというもので、福祉のまちづくりについて楽しく知ってもらいました。



バリアゴンの悪事について説明を聞き、姫を助けにさあ出発!!



地域で福祉の心を育み、 支えあうしくみをつくることによる展開



市・区社会福祉協議会では、「人と人とが互いにふれあい思いあう」そんな気持ちを広げるために、ボランティア講座や福祉のまちづくり活動への参加を進める取組を行っています。

学校や企業での福祉教育の相談・コーディネート

企画立案のサポートや講師の紹介、福祉施設・ボランティアグループ等との調整、また車いすやアイマスク・白杖など、必要な物品の貸出などを行っています。

10月に始まる赤い羽根の募金はなあに?



答えは
共同募金
だよ!

「総合的な学習の時間」で活用できる教材やガイドブックを出版・販売しています。

- ①福祉教育ワークブック「わくわくワーク」(小学校高学年向) クイズかるた・探検&マップづくりなどの教材キット。
- ②福祉の教育ガイドブック「みんなの幸せ～ひとりひとりができること～」 授業で活用できる事例満載の教員向けガイドブック。

問合せ:横浜市社会福祉協議会 企画・IT等担当 ☎045-201-2090



福祉教育連絡会・研修会の開催

福祉教育を進めていくためには、学校・企業だけでなく、福祉施設の職員・ボランティア・障害のある方など地域の方々との連携が欠かせません。研修会・連絡会を開催し、互いに顔の見える場を作っていくことで、地域全体の福祉理解・福祉のまちづくりの推進を行います。

●ふくしきょういくネットワーク委員会(市社会福祉協議会)

学識経験者・教育委員会・市民活動団体・地域ケアプラザ・区社協を構成員とした、福祉教育の課題解決を目的とした委員会を開催しました。

実施回数 3回

区においても、福祉教育連絡会などの取組が行われています。

●先生のための福祉講座(市教育委員会・市社会福祉協議会・18区社会福祉協議会共催)

開催日 ◆平成18年7月26日(水)～8月24日(木)のうち9日間

参加者数 ◆103名

- | | |
|--------------|--|
| 内容 ◆導入講座(必須) | 「ふだんのくらしから、しあわせを考えよう!」 |
| テーマ別講座(選択) | 「車いす体験」「知的障害理解」「視覚障害理解」
「聴覚障害理解」「高齢者理解」 |
| まとめ講座(必須) | 「授業に活かせる福祉教育プランを考えよう!」 |

参加者の声：新しいものの見方に気づいた、視点を変えてみることで捉え方も変わってくる。
自分自身の子どもへの接し方を見直すきっかけとなった。
疑似体験をとおして、知的障害のある人の気持ちを感じることができた。

●福祉教育研修会(市教育委員会・健康福祉局・市社会福祉協議会共催)

開催日◆平成18年12月20日(水)

参加者数◆303名

内容◆パネルディスカッション

「考えよう(きょういく(教育・共育・協育))」

参加者の声：小中学校の学習活動事例だけでなく、実際に障害者に関わる方々の生の話を聞くことができ、本当に心に迫る内容でした。

子どもたちへの体験講座の実施

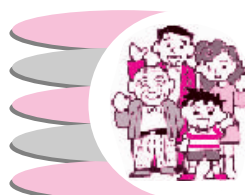
夏休みなどを利用して、小・中・高校生を対象に、区内の福祉施設・団体等で交流・体験学習やボランティア体験などを行っています。

ほらんていあ情報、あります

ボランティア・体験学習の受け入れを行う施設等の情報が検索できる「ほらんていあ情報、あります」。
平成18年度は471箇所を掲載！
横浜市ボランティアセンター HPにアクセスしてね！



ホームページアドレス <http://www.voraemon.com>



地域福祉活動との連携による展開



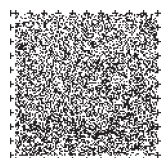
地域福祉活動への参加の促進と活動支援

市・区社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らすために、多種多様なボランティア活動の参加を促進しています。



ボク、横浜市ボランティアセンターのマスコットキャラクターのボラちゃんです！

みなさんは、「ボランティア活動」ってしたことありますか？
ボランティアなんてちょっと照れくさい気がするかもしれないけど、ボランティアはステキな新しい出会いと、もうひとりの自分に出会うチャンス！
ヨコハマには、各区にある社会福祉協議会がボランティア相談を受け付けてくれるよ。
LET'S TRY VOLUNTEER!



30,554



なんだ？この数字は???
なんだが分からないけど、たくさんだねエ。

横浜市内の社会福祉協議会でボランティア登録してくれた人数は約30,500人！(平成18年度末現在)たくさんの方がボランティアに興味をもって来ています！特にこれからは、定年退職をされた方のパワーが地域で大活躍！さあ、あなたもボラ仲間になりませんか？

一見普通に見えるこのゴーグル。
実はただのゴーグルじゃないんです。
かけると見え方が変わっちゃう?!
一体、どんな世界が見えるのかな？



これは老眼や白内障などにより視覚能力が低下した状態を体験できるゴーグル。高齢者の気持ちを理解するためのグッズです。このような高齢者体験は各種講座等で実施されています。まずは知ること・体験することが大事ですよ！ボランティアセンターでは講座開催の情報のほか、ボランティア情報、助成金情報など様々な情報を発信しています。

情報盛りだくさんの横浜市ボランティアセンターホームページにLet's アクセス!!

ホームページアドレス <http://www.voraemon.com>

うーん… これはただのマル？
楽しそうな絵が描いてあるよ。

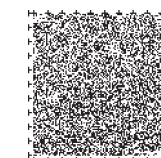
でも、なんで「トーナツ」みたいな形をしてるんだろう…



これは、車いすのホイールカバーです。車輪のスポーク部分をカバーして、衣服や指の巻き込みを防ぐ役割を果たします。このカバーの部分にいろんな人たちでデザインをして、「楽しく」「きれいに」「かっこよく!」変身させるのです。

みんなが住みやすい福祉のまちづくりを進めていくためには、たくさんの人たちに「福祉」に関心をもってもらうことも大切です。こんな風に、絵を描いたりデザインをすることから、楽しく「福祉」に触れる方法もあるんですよ！

(※この事業は、平成17～18年度の2か年にわたり、横浜市ボランティアセンターと市民活動団体「JOINT」(<http://www.joint.or.jp/index.jsp>)が協働で実施しました。)





なんだが、みんな楽しそう！
 おーい みんな～！
 何しているの～？

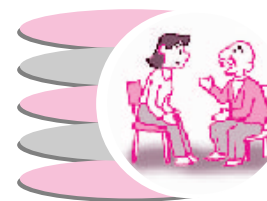
夏休み等を中心に、障害のある子どもたちとボランティアと一緒に楽しい時間を過ごす「学齡障害児余暇支援事業」。各区の社会福祉協議会で、それぞれオリジナリティあふれるプログラムやメニューを用意しています(写真は、磯遊びをしている様子)。

あなたもいろんな子どもたちと、楽しい思い出をつくりませんか？ まずは、各区の社会福祉協議会に問い合わせを！

<あなたのまちの社会福祉協議会>

あなたの仲間を見つけませんか？ お住まいの区社会福祉協議会へぜひお問い合わせください!!

区社協名	事務所の所在地	TEL	FAX
鶴見区社会福祉協議会	鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5階	504-5619	504-5616
神奈川区社会福祉協議会	神奈川区反町1-8-4 「はーと友 神奈川」内	311-2014	313-2420
西区社会福祉協議会	西区中央1-5-10 西区総合庁舎内	322-6848	313-0560
中区社会福祉協議会	中区山下町2 産業貿易センタービル4階	681-6664	641-6078
南区社会福祉協議会	南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階	260-2510	251-3264
港南区社会福祉協議会	港南区港南4-2-8 3F 港南区福祉保健活動拠点内	841-0256	846-4117
保土ヶ谷区社会福祉協議会	保土ヶ谷区川辺町5-11 「かるがも」3階	341-9876	334-5805
旭区社会福祉協議会	旭区鶴ヶ峰1-6-35 「ぱれっと旭」内	392-1123	392-0222
磯子区社会福祉協議会	磯子区磯子3-1-41 磯子センター5階	751-0739	751-8608
金沢区社会福祉協議会	金沢区泥亀1-21-5 「いきいきセンター金沢」内	788-6080	784-9011
港北区社会福祉協議会	港北区大豆戸町13-1 吉田ビル206	547-2324	531-9561
緑区社会福祉協議会	緑区中山町413-4 「ハーモニーみどり」内	931-2478	934-4355
青葉区社会福祉協議会	青葉区市ヶ尾町1169-22 青葉区福祉保健活動拠点	972-8836	972-7519
都筑区社会福祉協議会	都筑区荏田東4-10-3 港北ニュータウンまちづくり館内	943-4058	943-1863
戸塚区社会福祉協議会	戸塚区戸塚町167-25 戸塚区福祉保健活動拠点1階	866-8434	862-5890
栄区社会福祉協議会	栄区桂町279-29 栄区福祉保健活動拠点	894-8521	892-8974
泉区社会福祉協議会	泉区和泉町3540 「泉ふれあいホーム」内	802-2150	804-6042
瀬谷区社会福祉協議会	瀬谷区二ツ橋町318-5 「パートナーせや」内	361-2117	361-2328



地域にある施設のきめ細やかな整備促進による展開



表示板交付施設

●表示板交付施設とは

福祉のまちづくり条例では、指定された用途や規模の建築物を新たに建てたり改修したりした際に、通常の整備基準に加えて障害者や高齢者などがより安心して利用できるような施設整備がなされていた場合に、市長が表示板を交付し、掲示する義務を定めています。

これは、福祉のまちづくりの考え方を広く市民、事業者に知らせる方法として、また、障害者や高齢者など誰もが利用しやすい施設を計画した施設整備者を顕彰する方法の一つとして定めたものです。

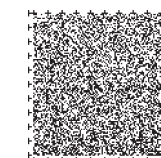
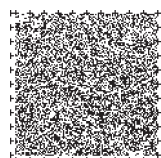
平成18年度は21施設に交付しました。



施設名	種別	所在地
ウェルシップネスシップ三世	福祉施設	鶴見区上末吉1丁目918-1
医療法人社団 片山整形外科記念病院	病院	鶴見区北寺尾4丁目48-1号他
鶴見中央一丁目土地有効活用(グレーシアスクエア横浜鶴見)	福祉施設	鶴見区鶴見中央一丁目23-2他
恩賜財団 済生会横浜市東部病院	病院	鶴見区下末吉三丁目705-4外
三ツ沢・沢渡地域ケアプラザ	福祉施設	神奈川区沢渡56-1
(仮称)ヨコハマポートサイドA-3街区プロジェクト商業棟建設工事	物品販売業を営む店舗	神奈川区金港町1-10
衛生看護専門学校	教育施設	中区根岸町2-85-2
(仮称)横浜山下町ホテル	宿泊施設	中区山下町195-1、195-10
中村地域ケアプラザ	福祉施設	南区中村町2丁目120-3
睦地域ケアプラザ・睦母子生活支援施設	福祉施設	南区睦1丁目31-1
仏向地域ケアプラザ	福祉施設	保土ヶ谷区仏向町1262-3
そうてつローゼン希望が丘店	物品販売業を営む店舗	旭区中希望が丘97-6他
屏風ヶ浦地域ケアプラザ・磯子区生活支援センター	福祉施設	磯子区森4丁目335-9他
ユニオネックス磯子岡村店	物品販売業を営む店舗	磯子区岡村5丁目993他
(仮称)コミュニティハウスすいとびー 金沢八景	福祉施設	金沢区瀬戸4138-19他
IKEA港北	物品販売業を営む店舗	都筑区折本町210-1他
ららぽーと横浜	物品販売業を営む店舗	都筑区池辺町4035-1
介護老人保健施設 リハビリゾート こどもの国(仮称)	福祉施設	青葉区奈良町4丁目6-1ほか
戸塚区障害者地域活動ホーム	福祉施設	戸塚区川上町4-9
(仮称)岩崎学園東戸塚2号館	教育施設	戸塚区品濃町550-6他
特別養護老人ホーム ファミリーイン瀬谷	福祉施設	瀬谷区中屋敷3丁目11-1他

16頁で紹介しています。

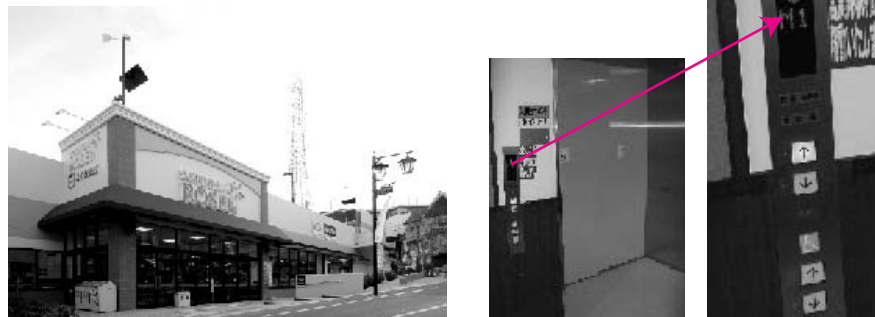
※事前協議書に記載された情報をもとに掲載しています。



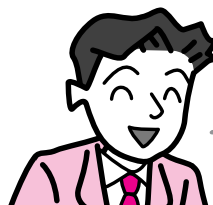
先進的事業等事例紹介

◆平成18年度 表示板交付施設より

◆★相鉄ローゼン 希望が丘店(旭区中希望が丘97-6)



エレベーターがあるので、高低差のある地形でも、楽に買い物ができます。



オーナーの山田泰範さん

店舗の前の広場は、まちと店舗との架け橋となるよう、希望が丘の旧地名である「春の木」をコンセプトに沿って整備したものです。

周囲の道路が狭いので、人が安全に通行できるよう配慮したほか、坂の途中なので、座って休むことができるように工夫しています。緑が貴重な商店街であり、広場にはハナミズキが植えてあるほか、斜面が植栽となっているので、店内から外に向けて緑が見渡せます。

相鉄ローゼン株式会社 店舗開発部 統括マネージャー 濱岡さん
日ごろ、上質な店舗づくりを意識しているほか、地域になじんだ色づかいに配慮しています。
開店してから、お客様には快適に店舗をご利用いただいております。



◆駅舎エレベーター等の整備

◆★エスカレーター音声案内

視覚障害者からご意見をお聞きし、音声案内を上り下りで女声・男声と分け、音も大きめに設定しています。



横浜駅

★シースルー改札

オープンカウンター形式の有人改札です。車いす利用者やこどもにも利用しやすいよう、低めのカウンターを併設するところも増えています。



相鉄線横浜駅



東急線、みなとみらい線横浜駅

◆多目的トイレの整備

◆★便器まわり操作部

便器洗浄ボタンは紙巻器の上に、呼出しボタンは便器洗浄ボタンと同じ高さで便器後方に配置しています。手のひらや甲でも押せる形です。各ボタンの色や形を変えているので、押し間違いがなくなります。



JR線石川町駅



京急線子安駅

◆鉄道事業者による取組み

◆★「サービス介助士(ケアフィッター)」資格の取得

「サービス介助士」資格は、NPO法人「日本ケアフィットサービス協会」が認定しているもので、だれもが社会参加しやすい環境を作るため「おもてなしの心」と「安全な介助技術」を学びます。誰もが安心して駅を利用できるよう、鉄道事業者が資格の取得を進めています。

資格取得者の駅配置状況

- ・JR東日本(株) 鶴見駅、新子安駅、東神奈川駅、横浜駅、保土ヶ谷駅、東戸塚駅、戸塚駅、大口駅、菊名駅、新横浜駅、小机駅、長津田駅、桜木町駅、関内駅、石川町駅、山手駅、根岸駅、磯子駅、新杉田駅、本郷台駅に配置

きっぷ売場、改札担当者用

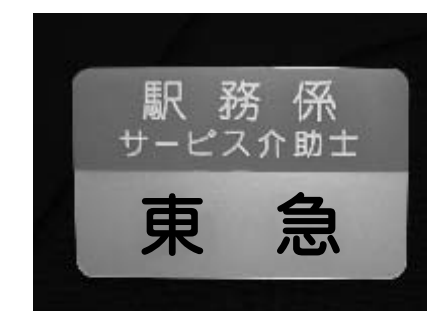


JR東日本

案内担当者用



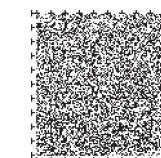
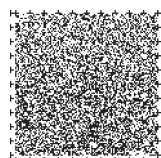
JR東日本



東急電鉄

- ・東急電鉄(株) 横浜駅、反町駅、東白楽駅、白楽駅、妙蓮寺駅、菊名駅、大倉山駅、綱島駅、日吉駅、長津田駅、田奈駅、青葉台駅、藤が丘駅、市ヶ尾駅、江田駅、あざみ野駅、たまプラーザ駅に配置

- ・京浜急行(株) 市内全24駅で90名程度取得
- ・相模鉄道(株) 市内全19駅で各駅1名以上配置
- ・横浜新都市交通(株)(シーサイドライン) 新杉田駅に配置
- ・横浜市交通局 蒔田駅、横浜駅、新横浜駅に配置



平成18年度に横浜市が整備した主な施設

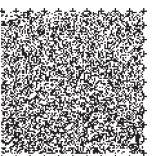
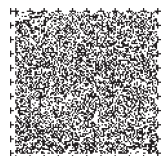
凡例

- 多トイレ:車いす使用者等対応トイレ、多目的トイレ
- 多トイレ:高齢者対応トイレ
- P:車いす使用者用駐車場
- ブロック:視覚障害者誘導用ブロック
- 水飲み:車いす対応水飲み
- EV:車いす兼用エレベーター
- カウンター:車いす対応カウンター
- 大きめのシート:折りたたみシート、ユニバーサルシート
- 汚物流し:オストメイト専用汚物流し
- パウチ洗浄水栓:オストメイト用パウチ洗浄水栓
- おむつ交換台:乳幼児用おむつ交換台、ベビーシート、ベビーベッド
- ESC:エスカレーター
- ベビーキープ:ベビーキープ、ベビーチェア、赤ちゃんいす

整備内容

所在区	施設名(正式名称)	整備内容(具体的に記入)	
鶴見区	横浜市鶴見中央地域ケアプラザ	EV 1基、多トイレ(汚物流し、大きめのシート) [2階]、高トイレ [2階]、戸、P、ブロック [敷地入口～受付カウンター]、カウンター、手すり [階段・廊下・浴室・トイレ]、自動扉 [施設入口]、浴室介助リフト	
	渋沢金井公園	スロープ、水飲み 1基、手すり [階段・スロープ]、階段の段鼻着色	
	下末吉公園	スロープ、水飲み 1基、手すり [階段]、階段の段鼻着色	
	生麦貝の浜緑地	スロープ、手すり [階段]、階段の段鼻着色	
	鶴見地区 豊岡通り	ブロック、歩行空間の確保、道路構造の改修 (300m)	
	新鶴見人道橋	EV 2基、視覚障害者誘導用ブロック (84.9m)	
	鶴見図書館	オムツ交換台 [2階女子トイレ]	
	鶴見中学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり	
	神奈川区	神奈川区総合庁舎	多トイレの自動ドア化 2基 [別館1・3階身障者用トイレ] スロープ改修 (ノンスリップ化) [本館棟 玄関] EV敷居間改修 3基 高トイレ改修 (腰掛け式便器、手すり設置 6基)
		神奈川公会堂	EV 1基、多トイレ 1基 (男女別、ベビーキープ、大き目のシート) [2階]
横浜市沢渡三ツ沢地域ケアプラザ		EV 1基、多トイレ (汚物流し、大きめのシート) [1階]、高トイレ、P、ブロック [敷地入口～受付カウンター]、カウンター、手すり [階段・廊下・浴室・トイレ]、自動扉 [施設入口]、浴室介助リフト	
東横フラワー緑道		スロープ、ブロック [園路]	
松見町一丁目中央公園		水飲み 1基、手すり [階段]、スロープ、ブロック [園路]	
神奈川公会堂		EV	
栗田谷ヒルズ 1号棟、2号棟		手すり [浴室・便所・共用廊下・階段]、段差解消 [住戸内]、スロープ [屋外通行部分]、EV	
横浜地区 県社会福祉会館前		道路構造の改修 (150m)	
市道高島台第207号線 横浜駅東口駅前広場		歩道こう配改良・ブロック	
西区		市道高島台第161号線 横浜駅西口駅前広場～高島屋交差点	ブロック
中区	すずかけ通り歩道橋	EV 2基 手すり [通路、階段]、ブロック (警告) [階段、EV]	
	中区役所	高トイレ改修 (手すり設置 6基) [1、4、7階の洋式トイレ]	
	尾上町通り	道路構造の改良 (50m)	
	新横浜通り	道路構造の改良 (500m全区間)	
	不老町から長者町3丁目	道路構造の改修 (50m)	
	本牧地区センター	手すり [工芸室前段]、高トイレ改修 (出入口拡幅、手すり設置)、男子小便器手すり設置、和式便所の洋式化、ブロック [階段、出入口～受付前]、点字シール設置	
	竹之丸地区センター	洋式便房改修 (出入口拡幅)、ブロック [階段]、点字シール [階段]	
	関内地区 本町1丁目から県庁	ブロック、道路構造の改良 (140m全区間)	
	都市計画道路本町線	ブロック 140m	
	南区	六ッ川一丁目公園	ベンチ、段差解消 [出入口]、水飲み、手すり [階段]
港南区	横浜市陸地域ケアプラザ	多トイレ (汚物流し、大きめのシート) [2階]、(ベビーシート) [2階]、高トイレ [1、2階]、自動扉 [施設入口]、手すり [階段、廊下・トイレ、浴室]、P 1台分、EV 1基、カウンター [2階事務室前]、ブロック [敷地入口～受付カウンター]、階段、EV]、警報設備 [1、2階]、浴室介助リフト	
	横浜市中村地域ケアプラザ	EV1基、多トイレ (汚物流し (温水)、大きめのシート) [2階]、高トイレ、P、ブロック [敷地入口～受付カウンター]、カウンター、手すり [階段・廊下・浴室・トイレ]、自動扉 [施設入口]、浴室介助リフト	
	六ッ川小学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり	
	日限山八木公園	段差解消 [出入口]、水飲み	
	鍛冶ヶ谷南公園	段差解消 [出入口]	
	下永谷第四公園	段差解消 [出入口]、水飲み	
	平戸永谷川遊水地多目的広場	多トイレ 1箇所 (オムツ交換台) [広場内単独棟]、スロープ [トイレアプローチ]	
	高速鉄道1号線港南中央駅	EV 1基 [地上階～改札口]	
	相武山小学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり	
	荻が谷南小学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり	
日限山中学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり		
保土ヶ谷区	横浜市仏向地域ケアプラザ	EV 1基、多トイレ (汚物流し) [2階]、洗面器 [1、2階]、P、ブロック [敷地入口～受付カウンター]、カウンター、手すり [階段・廊下・浴室・トイレ]、自動扉 [施設入口]	
	横浜市恵風ホーム	戸改修 1箇所 (把手の形状を棒状にする) [食堂入口]	
	保土ヶ谷地区センター	手すり改修 [階段]、EV操作盤点字表示、便所ドア改修、プレイルームドア改修、高トイレ改修 (出入口拡幅、手すり設置)、男子小便器手すり設置、和式便所の洋式化、ブロック [階段]、点字シール [階段]	
	西谷地区センター	居室扉取っ手交換、手すり改修 [階段]、高トイレ改修 (出入口拡幅、手すり設置)、男子小便器手すり設置、ブロック [階段]、点字シール [階段]、ブロック [出入口～受付前]	
旭区	コンフォール明神台2号棟	手すり [浴室・便所・共用廊下・階段]、段差解消 [住戸内]、スロープ [屋外通行部分]、EV	
	希望が丘地区センター	手すり [階段]、端部のブロック設置 [階段]、高トイレ改修 (出入口拡幅、手すり設置)	
	若葉台地区センター	ブロック設置 [エントランスホール、男子便所、女子便所、階段ほか]、プース出入口拡幅、各種手すり設置	
	希望が丘地区センター	階段手すり、ブロック設置 [階段]、高トイレ改修 (出入口拡幅、手すり設置)	
中沢小学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり		

所在区	施設名(正式名称)	整備内容(具体的に記入)
旭区	若葉台北小学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり
磯子区	森二丁目公園	段差解消 [出入口] 2か所、水飲み 1か所
	横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ	EV 1基、多トイレ (汚物流し、大きめのシート) [1階]、高トイレ [2階]、戸、P、ブロック [敷地入口～受付カウンター]、カウンター、手すり [階段・廊下・浴室・トイレ]、自動扉 [施設入口]、浴室介助リフト
金沢区	横浜市磯子区精神障害者生活支援センター	EV1基、多トイレ、戸 (引き戸)、ブロック、手すり [階段・廊下・浴室・トイレ]、自動扉 [施設入口]
	金沢八景キャンパス (理科館)	EV 1基の車いす使用者対応化
	金沢シーサイドライン海の公園柴口駅	EV 1基 [駅ラチ内]
	金沢シーサイドライン海の公園南口駅	EV 1基 [駅ラチ内]
港北区	金沢シーサイドライン産業振興センター駅	EV 1基 [駅舎連絡通路]
	金沢中学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり
	港北土木事務所	スロープ [出入口]、多トイレ [1階]
	市道菊名第64号線外 (アリーナ通り)	ブロック、道路構造の改修 (220m)
	森戸原第一公園	水飲み、段差解消 [出入口]
	新横浜公園Cゾーントイレ	多トイレ 1か所、スロープ、手すり [スロープ・階段]
	新横浜公園Dゾーンレストハウス	多トイレ 1か所、スロープ、手すり [スロープ・階段]
	新横浜公園運動系広場	水飲み 1基
	新横浜公園Dゾーン堤体園路	スロープ [園路]、手すり [スロープ・階段]
	新横浜地区 環状2号線	ブロック、道路構造の改修 (合計1,030m)
緑区	新横浜駅北口交通広場	EV 1基
	緑区総合庁舎	ブロック [正面玄関アプローチ部分、1階]
	白山地区センター	ブロック [外部出入口、廊下、階段4か所]、手すり [廊下、階段踊り場、トイレ6か所、洗面器体育室男女トイレ]、手すり点字 [階段8か所]、多トイレ (人感センサー調整)、段差解消 [体育室男女、2階男女、1階男トイレ]、便房扉拡幅 [2階男女トイレ、1階男女トイレ]
	ござか第一公園	手すり [階段]、水飲み、入口段差解消
	北八朔第二公園	手すり [階段]、水飲み 入口段差解消
	新治里山公園	ブロック [園路、階段]、手すり [トイレ、階段、園路]、スロープ [出入口、園路]、多トイレ 1か所 (おむつ交換台)
	横浜動物の森公園カワイン/シシ展示場	スロープ [園路] (幅4.0m、延長約80m、最大勾配4.1%)、水飲み 1基、野外車 (車いす使用者対応) 7基
	横浜動物の森公園わんぱくの森ふれあい施設	水飲み 1基
	白山地区センター	エントランスホール、トイレ、階段、カウンター改修、ブロック、出入口拡幅、手すり
	十日市場小学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり
青葉区	山内地区センター	事務室、トイレ、ホール、階段、カウンター改修、ブロック、出入口拡幅、手すり
	美しが丘地区センター	ブロック [エントランスホール]
	藤が丘地区センター	トイレ、エントランスホール、カウンター改修、ブロック、出入口拡幅、手すり
	若草台地区センター	ブロック [ホール、トイレ、階段ほか]
	黒須田小	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり
	みたけ台中・コミュニティハウス	多トイレ改修、スロープ、手すり、ブロック
	山内図書館	おむつ交換台 1台 (多トイレ内に設置)
	あざみ野中学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり
	(仮称)北山田駅前公衆トイレ	多トイレ 1か所 (おむつ交換台、汚物流し、パウチ洗浄水栓)
	都筑区	都市計画道路丸子中山茅ヶ崎線 (南山田大榎勝田地区)
都市計画道路羽沢池辺線 (池辺地区)		歩道整備 (290m)、ブロック (24㎡)
主要地方道横浜上麻生線 (都田中学校入り口交差点)		歩道整備 (80m)、ブロック (19㎡)
市道川和第363号線		歩道整備 (330m)、ブロック (22㎡)
戸塚区	倉田コミュニティハウス	多トイレ 1箇所 (汚物流し、パウチ洗浄水栓、大きめのシート)、P 1台分、EV、手すり、カウンター、ブロック
	上矢部おおぞら公園	スロープ (1/15以下)、手すり [階段・通路・トイレ]、多トイレ (おむつ交換台)
	俣野公園	EV 1基、手すり [トイレ、階段]、スロープ [出入口]、多トイレ 4か所 (乳幼児用設備 [1階/2階]、車いす使用者用観客席 4席) 手すり [階段・トイレ]、多トイレ (おむつ交換台) P 4台、スロープ (1/15以下)、ブロック、手すり [階段・通路]
栄区	栄区庁舎	手すり [便房内]
	大船駅証明発行コーナー	自動扉 [正面入口]、ブロック [駅改札～出入口まで]
	さかえ区民活動センター	多トイレ (汚物流し、大きめのシート)、ベビーキープ、カウンター、自動扉 [正面入口]、手すり [便房内]、引き戸 [研修室、廊下入口]
	つどいの広場さかえ	引き戸、カウンター
泉区	飯島コミュニティハウス	多トイレ 1か所 (汚物流し、大きめのシート)、ベビーキープ、引き戸、P 1台、カウンター、ブロック、自動扉 [正面入口]、手すり [便房内]
	荒井沢中谷公園	水飲み、手すり [階段]
	上郷小学校	EV、多トイレ改修、スロープ、手すり
	中川地区センター	居室扉取っ手交換、手すり [階段]、ブロック [階段]、点字シール、高トイレ改修 (出入口拡幅、手すり設置)、男子小便器手すり設置
瀬谷区	横浜市新橋ホーム	高トイレ 1か所 (背もたれ、温水洗浄便座、洗面器、手すり) [1階] 多トイレ (背もたれ、温水洗浄便座、手すり) [2階] 高トイレ 1か所 (背もたれ、洗面器、手すり) [1階]、多トイレ (背もたれ、温水洗浄便座、洗面器、手すり) [1階]
	泉土木事務所	スロープ [出入口]
市内一円	瀬谷図書館	点字シール [エレベーター内] 車いす購入
市内一円	既設市営住宅	① 手すり 332か所 [室内] 89か所 [外部] ② 段差解消 19か所 ③ 扉の改修 55か所 ④ 車いすアプローチ整備 2か所 ほか
	市内一円	ブロック (2118m)





だれもが利用しやすい 交通ネットワークづくりによる展開



鉄道駅舎エレベーター等整備状況

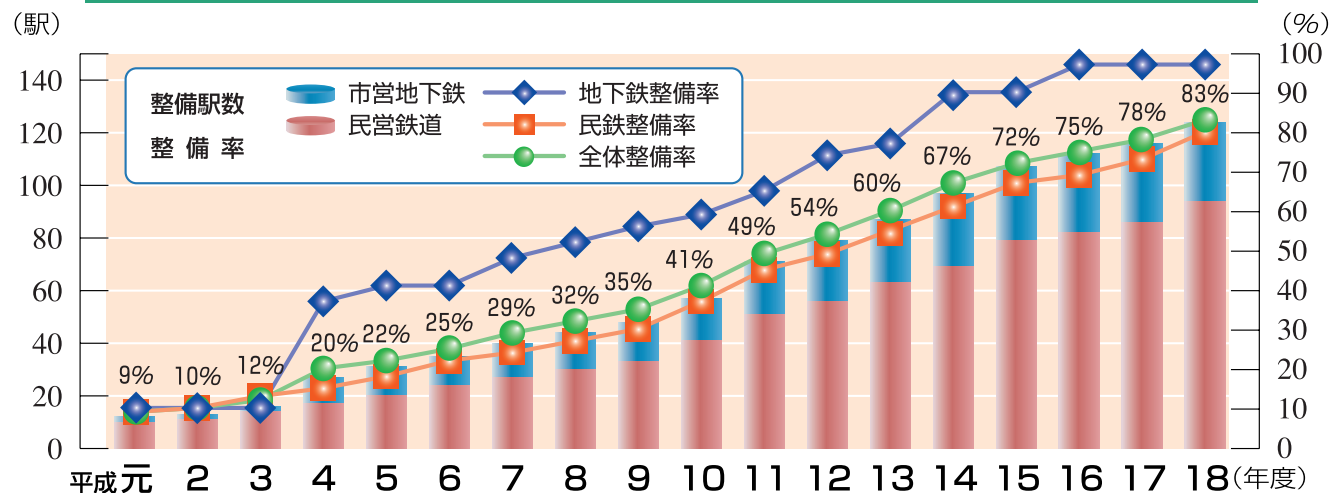
単体の建築物の福祉整備が進むと同時に、そこに至る移動経路の確保も大きな課題となります。そこで、横浜市は、高齢者、障害者を含む誰もが生活し、活動しやすいまちづくりを推進するために、

(1) 民営鉄道事業者等が行う鉄道駅舎へのエレベーター、多目的トイレ等の設置に対する補助

(2) 市営地下鉄既存駅舎へのエレベーター等の設置

を行っています。平成18年度末現在で、エレベーター等による地上からホームまでの連続整備駅は市内149駅中124駅(83%)に達しています。多目的トイレについても、平成16年度から補助制度がスタートしたことで、より一層バリアフリー化が促進されています。車いす対応のトイレは民営鉄道80駅(68%)、市営地下鉄30駅(97%)合計110駅(74%)に整備されています。

地上からホームまでの連続整備駅及び整備率の推移(平成元~18年度)



平成18年度の整備駅から

相模鉄道 横浜駅

エレベーターの設置が困難とされていた駅ですが、設置位置を工夫し、エレベーターが設置されました。

1階改札~降車ホームに設置されたため、エレベーター内音声案内にて乗車ホームの位置をお知らせしています



市営地下鉄 港南中央駅

改札~各ホームのエレベーター2基を供用開始していましたが、今回、改札階~地上(港南区役所側)にエレベーターが設置されました。オストメイト対応の多目的トイレも整備されています。



エレベーター・車いす乗用エスカレーターの整備状況(平成19年3月末現在)



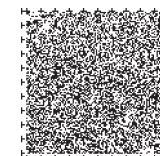
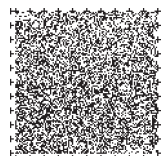
鉄道駅舎エレベーター等設置事業(平成18年度整備補助実績)

鉄道線	駅名	基数
JR東日本	新子安駅	2基
	石川町駅	2基
	洋光台駅	1基
京浜急行	子安駅	3基
相模鉄道	横浜駅	1基
相模鉄道	鶴ヶ峰駅	3基
平成18年度整備駅合計	6駅	12基

多目的トイレ設置駅

鉄道線	駅名	基数
JR東日本	新子安駅	1箇所
	石川町駅	1箇所
	洋光台駅	1箇所
京浜急行	子安駅	1箇所
相模鉄道	鶴ヶ峰駅	2箇所
平成18年度整備駅合計	6駅	7箇所

- H18 EV新規設置駅
- ▲ 多目的トイレ(車いす使用者対応)
- おむつ交換台(大きめシートを含む)
- 地上からホームまでの連続整備駅
※車いす対応のエスカレーターによる整備も含まれます。
- 車いす乗用階段昇降機設置駅



ノンステップバス導入状況



ノンステップバスは平成9年度から導入されており、これまでに導入された台数は642台となっています。

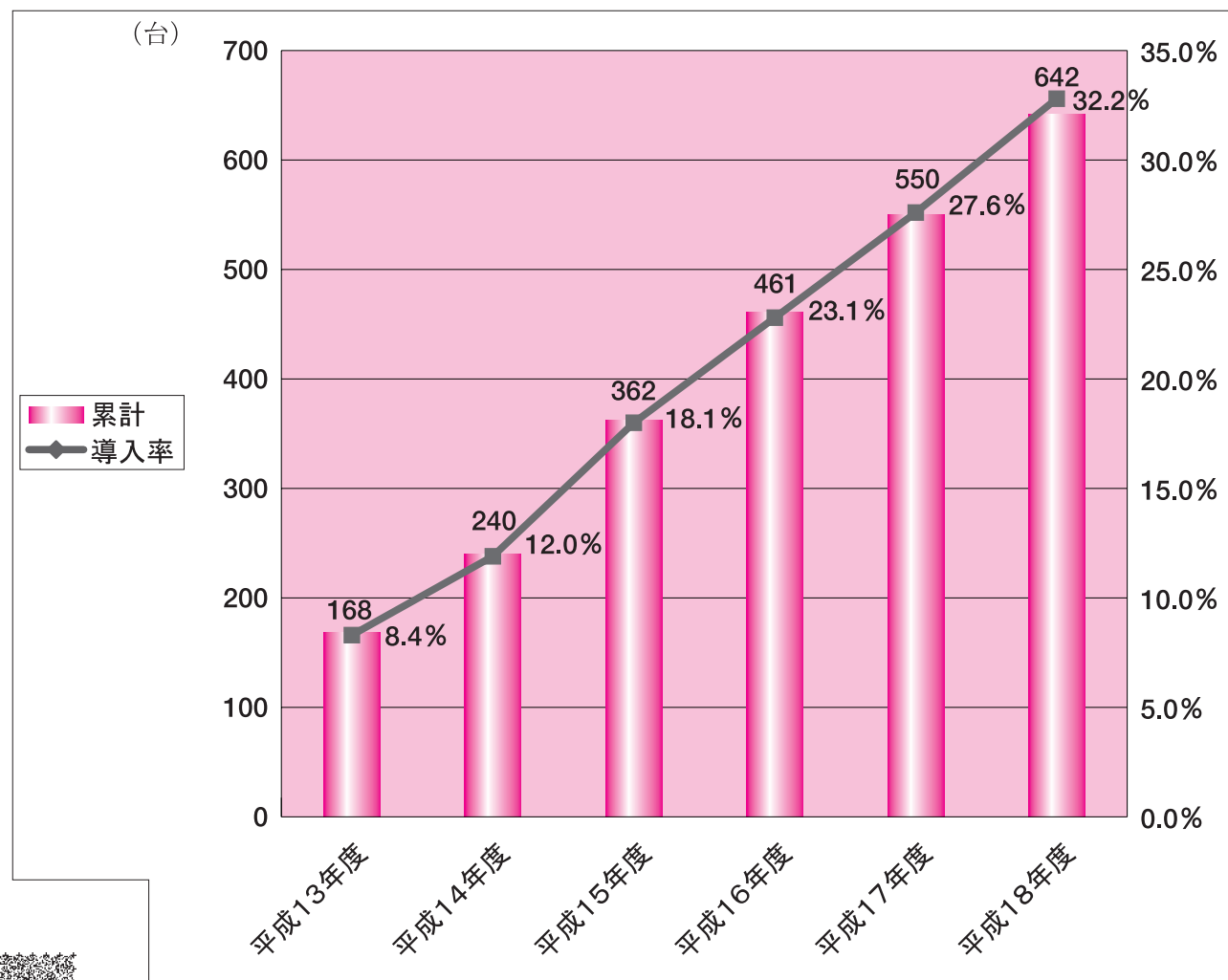


ノンステップバスとは・・・

車いす使用者をはじめ、誰もが乗降しやすいよう、乗降口の階段をなくし、道路から床面までの高さが30cm程度となっているバスです。

現在、導入されているノンステップバスは、車体が乗降口側に傾き（ニーリングといいます）、車体全体が低くなることにより乗降しやすくなっているほか、特に歩道のあるところでは、ニーリングした状態でスロープ板を使うことにより、車いす使用者にとっても乗降しやすくなっています。

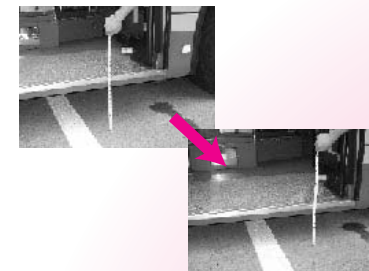
ノンステップバス導入数の推移



※ 導入率は平成18年度末現在(1,995台)に対する割合

ノンステップバス 車いす使用者 乗車のしかた

1 ニーリング機構の作動



車体を傾け、車高を低くします。

2 スロープ板の準備



車体と地面の段差を解消。

3 スペースの確保



いすを折りたたみ、収納。

4 固定金具の準備



金具は車内に保管してあります。

5 乗車介助



運転手がお手伝いします。

6 車いすを固定

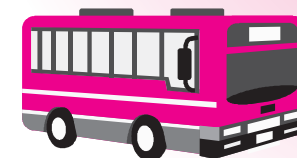


車体と車いすを確実に固定します。

7 固定・シートベルトの確認



8 安全を確認して、出発



●所要時間 約8分

※各バス事業者によって、ノンステップバスの形式、手順、固定方法が異なる場合があります。



車いす使用者の乗降の際、スロープ板の準備等で多少お時間をいただいております。
皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



資料編

福祉のまちづくり研修

横浜市では毎年、横浜市職員、建築士会や設計事務所等で、公共建築物等の設計や企画・管理に関わる方を主な対象にして、「福祉のまちづくり研修」を開催しています。

福祉のまちづくり条例及び同条例施行規則の周知及び啓発とともに、実際に高齢者疑似体験や車いす体験を通じて、整備基準の根拠を理解し、福祉のまちづくりを考えていきます。

平成18年度の開催概要

- 研修日程 平成18年11月29日・30日
- 研修会場 横浜市社会福祉センター（健康福祉総合センター）
- 主な内容
 - ・福祉のまちづくり条例・条例施行規則について
 - ・車いす・高齢者疑似体験（桜木町駅周辺を移動しながらの体験）
 - ・福祉のまちづくり設計における留意点（専門家による講義）
 - ・グループディスカッション



参加者の声



体験とそれを踏まえた講義、ディスカッションによって理解度が増した。

（高齢者疑似体験をしてみても）後ろからぶつかられそうで心配で、プレッシャーを感じた。優しくしなくてはと思った。



（講演を聴いて）物理的な整備基準はもちろんのこと、ソフト（意識の変革）が重要だということを感じた。

（今後の仕事において）ただ基準を守るのではなく、利用者の視点で取り組みたいと思う。



なかなかできない体験ができた。大変な思いをして来庁されるお客様に、もっと親切にできると思う。

知識だけでなく、思いやる気持ちが育った。



バリアフリー新法に基づく「基本構想」策定の取組

平成12年11月に施行された「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」（通称：交通バリアフリー法）を受けて、これまで、関内、鶴見、横浜、新横浜、三ツ境の5地区について基本構想を策定し、それぞれの基本構想に位置づけた事業を進めています。

- 関内駅周辺地区、鶴見駅周辺地区（平成16年8月5日策定）
- 横浜駅周辺地区、新横浜駅周辺地区（平成18年8月30日策定）
- 三ツ境駅周辺地区（平成19年3月5日策定）

平成18年12月には交通バリアフリー法を拡充した「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（通称：バリアフリー新法）」が新たに施行されました。この法律は、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方に基づき、すべての人に利用しやすい公共交通機関、建築物、道路等の整備を実現していこうとするものです。

現在、同法に基づき戸塚駅周辺地区、上大岡駅・港南中央駅周辺地区を対象に高齢者・障害者等の市民、関係事業者・行政が一体となって、基本構想の策定を進めています。

戸塚駅周辺地区、上大岡駅・港南中央駅周辺地区（平成19年度策定予定）

今後、本市では、旧・交通バリアフリー法に基づき検討してきた基本構想の課題を整理するとともに、バリアフリー新法に基づき、横浜市における今後のバリアフリーの進め方を検討していきます。



ホームページアドレス <http://www.city.yokohama.jp/me/douro/plan/bf/index.html>

平成18年度事業の流れ

4月13日	バス事業者連絡会
4月20日	鉄道事業者連絡会
5月23日	第35回福祉のまちづくり小委員会
7月1日・22日	福祉のまちづくり市民意見交換会
8月4日	福祉のまちづくり庁内連絡会
8月24日・25日	子どもアドベンチャー2006
8月29日	協働事業 関内バリアフリーマップまち歩き
10月3日	第36回福祉のまちづくり小委員会
10月6日	障害者団体による市営バス意見交換会（滝頭営業所）
10月26日	福祉の都市環境づくり16大都市連絡会（広島市）
11月7日	第21回福祉のまちづくり推進会議
11月29日・30日	福祉のまちづくり研修
11月29日	障害者団体による市営バス意見交換会（港南営業所）
12月4日	鉄道事業者連絡会
12月20日	福祉教育研修会
12月26日	第37回福祉のまちづくり小委員会
12月27日	バス事業者連絡会
1月16日	第22回福祉のまちづくり推進会議
3月	「福祉のまちづくり推進指針（改訂版）」発行

